

I 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。解答はマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

中国には黄河・長江・淮河などをはじめとする河川があり、おおむね西から東に流れている。その沿岸には古くから集落が作られ、集落の発達と治水事業とは密接な関係にあった。とくに中原地域では、黄河を整備して洪水を防ぎ、民が農業用水を滞りなく使用できるようにする必要があり、歴代王朝はその対応に四苦八苦した。また、長安や洛陽を都とする王朝は、首都圏の食糧や労働力を支えるため、水運の整備を図らねばならなかった。とくに隋は大運河を建設し、水運の利便性を格段に向上させた。

唐が滅びると、朱全忠は後梁を建国し、都を開封に置いた。開封は大運河と黄河の合流地帯に位置するという水運の利を有し、商業的に大いに繁栄した。その様子を描いた画卷として、北宋末・張択端の（あ）が知られている。

宋代以降になると、南中国の人口や生産力の増加が顕著となり、東西のみならず、南北の水運がますます重要となった。クビライ（フビライ）は、国号を元に定め、都を大都に築いた。大都は駅伝制と連結され、運河によって渤海湾とも結ばれた。やがて元が南宋を滅ぼし、海上交易で名を馳せた都市を支配すると、大都は海運と運河によって支えられるようになった。

明代になると、長江中流域の湖広が穀倉地帯として成長し、景德鎮をはじめとする地域では陶磁器の生産が盛んになった。明の洪武帝は（い）に都を置いたが、やがて（う）に遷都すると、長江中流域の生産物を首都に大量輸送する必要が生じ、その支えとなったのも運河だった。

設問1 下線部 a に関して述べた以下の文について、明白な誤りを含む文章を以下の①～④から一つ選びなさい。

- ① 前6000年頃までに黄河流域では雑穀中心の農耕が始まり、長江流域では稲が栽培されていた。
- ② 前3000年紀には黄河流域に西方から麦や羊がもたらされた。
- ③ 河姆渡遺跡に代表される仰韶文化ではおもに稲作がみられた。
- ④ 良渚文化は水田農耕によって支えられていた。

設問2 下線部 b に関して、長安に都を置いた王朝の名前はどれか。

- ① 北齊 ② 前漢 ③ 北魏 ④ 楚

設問3 下線部 c に関して、隋の大運河の敷設に携わった皇帝について、明白な誤りを含む文章を以下の①～④から一つ選びなさい。

- ① 九品中正にかわって科挙を開始した。
- ② 高句麗に遠征した。
- ③ 南朝の斉を滅ぼした。
- ④ もともと北周の武将だった。

設問4 下線部 d に関して、唐代後半期から滅亡までの過程として、次のA～Dの出来事を古いものから時代順に並べたとき、最も適切なものはどれか。

- A 両税法が定められた。
- B 安史の乱が起こった。
- C 黄巢の乱が起こった。
- D 募兵制が採用され、節度使が置かれた。

- ① D → A → B → C ② D → B → A → C
- ③ B → D → C → A ④ C → D → A → B

設問5 空欄（あ）に入る作品名として、最も適切なものはどれか。

- ① 姑蘇繁華図 ② 清明上河図 ③ 混一疆理歴代国都之図 ④ 坤輿万国全図

設問6 下線部 e に関して、クビライ（フビライ）以後のモンゴルの状況として明白な誤りを含む文章を以下の①～④から一つ選びなさい。

- ① 寒冷化とペストの流行がすすんだ。
② チャガタイ＝ハン国（チャガタイ＝ウルス）では分裂抗争のなかからティムールが台頭した。
③ モスクワ大公国のイヴァン4世は、ノヴゴロドなどを併合し、1480年にキプチャク＝ハン国（ジョチ＝ウルス）の支配から脱した。
④ 元朝は明に追われてモンゴル高原に退き、その後もオイラトと勢力争いを演じた。

設問7 下線部 f に関して、海上交易について明白な誤りを含む文章を以下の①～④から一つ選びなさい。

- ① 宋代には山西商人と徽州商人が活躍し、明代には衰退した。
② 宋は広州・泉州・明州などに市舶司を置いた。
③ 唐僧の義浄が『南海寄帰内法伝』を著し、当時のインドや東南アジアに触れている。
④ 宋銭が日宋貿易を通じて日本へ持ち出された。

設問8 下線部 g に関して、当時の事柄について明白な誤りを含む文章を以下の①～④から一つ選びなさい。

- ① 穀倉地帯として有名だった長江下流域は、綿織物や生糸などの家内制手工業を主軸とするようになった。
② 同郷出身者や同業者の互助・親睦をはかるための会館・公所がつけられた。
③ 『三国志演義』『水滸伝』『西遊記』などの小説が普及した。
④ 李時珍の『農政全書』や宋応星の『天工開物』がつけられた。

設問9 空欄（い）と（う）に入る地名の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

- ① いー北京 うー南京
② いー南京 うー北京
③ いー上都 うー大都
④ いー洛陽 うー長安

Ⅱ 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。解答はマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

A を意味するメソポタミアでは B を中心に村落が発展し、前3000年頃にはシュメール人によってウルなどの都市国家が形成された。シュメール時代のメソポタミアでは、天文・暦法・数学などの学問が発達したほか、楔形文字が発明され、多くの民族によって用いられた。前24世紀になると、シュメール人の都市国家はサルゴン1世の率いるアッカド人によって征服された。開放的な地形で豊かな富をもつメソポタミアでは、ヒッタイト人やカッシート人など、その後も異民族の侵入が相次ぎ、諸勢力の興亡が繰り返された。

メソポタミアとともに早くから文明が誕生したエジプトでは、ナイル川の定期的な氾濫によって土壌が堆積し、豊かな農業が営まれた。大規模な治水・灌漑を統制し管理する必要から、前3000年頃には統一国家が成立した。エジプトではメソポタミアに比べて異民族の侵入は少なく、約30の王朝が交替しながらも、国内では長期にわたって安定した文明が続いた。

メソポタミアとエジプトを結ぶシリア・パレスチナ地方は海陸交通の要衝であった。フェニキア人はシドン・ティルスなどの都市国家を拠点として交易に従事し、カルタゴをはじめとする多くの植民市を建設した。前1500年頃にはヘブ

ライ人がパレスチナに定住し、その一部はエジプトに移住したが、圧政に苦しみ、モーセに率いられて脱出した。ヘブライ人は前11世紀に王国を建て、ダヴィデ王とソロモン王の時代に繁栄したが、ソロモン王の死後、王国は南北に分裂した。南のユダ王国は新バビロニアに滅ぼされ、住民は強制移住させられた。新バビロニア滅亡後、帰還した彼らはヤハウェをまつる神殿を再興してユダヤ教を確立した。ユダヤ教の教典は『旧約聖書』と呼ばれてキリスト教^⑥へ、さらにイスラームへと受け継がれた。

前7世紀には、アッシリアがオリエント全土のさまざまな民族を支配し統合する世界帝国となったが、服属する人々の反感を招き、その統治は長くは安定しなかった。アッシリア帝国の滅亡後、オリエントには4つの王国が分立することになり、そのうち小アジアのリディアでは世界で初めての金属貨幣^⑦がつくられた。4王国の分立に終止符を打ち、オリエント世界を再び統一したのはペルシア人であった。アケメネス（アカイメネス）朝ペルシアは、ダレイオス1世の時代にはエーゲ海北岸からインダス川流域^⑧に及ぶ広大な世界帝国となった。

設問1

A

 ,

B

 に入る語の組み合わせとして適切なものを以下のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア A 「川のあいだの土地」 B 南部
イ A 「川のあいだの土地」 B 北部
ウ A 「肥沃な三日月地帯」 B 南部
エ A 「肥沃な三日月地帯」 B 北部

設問2 下線部①に関連して、オリエント世界で用いられた文字について明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア 楔形文字は19世紀にイギリスのローリンソンらによって解読された。
イ フェニキア人はアムル人の用いた文字からフェニキア文字をつくり、これがギリシア人に伝わりアルファベットの起源となった。
ウ アラム文字から派生した文字として、アラビア文字・ウイグル文字・ヘブライ文字・満洲文字などがある。
エ ナポレオンがエジプト遠征中に発見したロゼッタ＝ストーンには、上段に神聖文字（ヒエログリフ）が書かれ、中段に民用文字（デモティック）が書かれていた。

設問3 下線部②に関連して、ヒッタイトがカデシュで戦った国を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア エジプト古王国 イ エジプト中王国 ウ エジプト新王国 エ プトレマイオス朝エジプト

設問4 下線部③に関連して、ナイル川流域の都市・王国について明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア アレクサンドリアでカーリミー商人がイタリア商人に香辛料などを売り渡した。
イ カイロは10世紀後半にファーティマ朝によって建設された。
ウ クシュ王国はアッシリアの侵入を受けてスサに都を移した。
エ アクスム王国は4世紀にキリスト教を受容した。

設問5 下線部④に関連して、エジプト文明について明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア 十進法が用いられ、ゼロの概念が生み出された。
イ 1年を365日とする太陽暦が用いられ、のちにローマで採用された。
ウ 古王国のクフ王の時代を中心にピラミッドが建設された。
エ 新王国の時代に写実的なアマルナ美術が生まれた。

設問6 下線部⑤に関連して、カルタゴについて明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア カルタゴ本国は北アフリカに建設され、西地中海域の交易で繁栄した。
- イ カルタゴは前2世紀半ばにザマの戦いでローマによって滅ぼされた。
- ウ 第1回ポエニ戦争の結果、ローマはカルタゴからシチリアを獲得し、属州として統治した。
- エ 第2回ポエニ戦争でカルタゴの将軍ハンニバルはアルプスを越えてイタリアに侵入した。

設問7 下線部⑥に関連して、キリスト教について明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア イエスは神の絶対愛と隣人愛を説き、パリサイ派らによって反逆者として総督ピラト（ピラトゥス）に訴えられ、十字架にかけられ処刑された。
- イ イエルサレム・アンティオキア・アレクサンドリア・ローマ・アテネの教会は五本山と呼ばれ、5つの管区に分けられた信徒たちをそれぞれが指導した。
- ウ 4世紀にディオクレティアヌス帝がキリスト教徒の迫害を命じた。
- エ 4世紀にテオドシウス帝がアタナシウス派キリスト教を国教とした。

設問8 下線部⑦に関連して、貨幣・金属について明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア メコン川下流域のオケオ遺跡から出土したローマ金貨には、マルクス＝アウレリウス＝アントニヌスの肖像と銘がある。
- イ コンスタンティヌス帝はソリドゥス金貨を発行して、地中海の交易の安定を図った。
- ウ ニジェール川流域では金が豊富に産出され、この地域に成立していたガーナ王国は塩と金を交換する交易で繁栄した。
- エ 16世紀に現在のメキシコでポトシ銀山が発見され、大量の銀がヨーロッパに流入した。

設問9 下線部⑧に関連して、インダス文明の都市遺跡とその所在地の組合せとして適切なものを以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア モエ（ハ）ンジョ＝ダーロ — パンジャブ地方
- イ モエ（ハ）ンジョ＝ダーロ — グジャラート地方
- ウ ドーラヴィーラー — パンジャブ地方
- エ ドーラヴィーラー — グジャラート地方

Ⅲ 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。解答はマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

15世紀末に勃発する①イタリア戦争から、三十年戦争を終結させた17世紀半ばの②ウェストファリア条約締結までの間に、いわゆる主権国家体制が確立したと言われる。一定のルールのもとに戦争と交渉を繰り返すこの新しい世界秩序は、③国内外のいかなる権力も君主の主権に干渉できない、という国家理解を前提としている。

三十年戦争から18世紀末まで続く近世主権国家は、④絶対王政という実態を持つと考えられてきた。⑤常備軍の創設にみる君主を頂点とする軍制の確立、中央集権的な財政基盤の強化、君主に忠実な官僚制の構築などがその特性である。⑥封建制を基盤とする中世身分制国家との差異が強調されることによって、絶対主義的な主権国家にはこれまで相対的に近代的なイメージが与えられてきた。実際に、⑦ボーデンやホップズの国家論を根拠に、絶対主義国家は中世キリスト教共同体の崩壊後に現れた一元的な近代国家と認識される傾向さえあった。

しかし、近年、君主による排他的な支配ではなく、君主と特権層の協働を特色とする対内主権の重層性のほか、そうした属性をもった複数の地域が離合集散を繰り返す柔軟な対外主権の実態が示されつつある。従来の主権国家像は大いに変化し、「ウェストファリア神話の解体」さえ指摘されるようになったのである。仮にそうであるなら、各国が政治

的自立性の確立をめざし、固有の伝統・文化やイデオロギー^⑧を掲げて競いあったと言われる近現代の主権国家、いわゆる国民国家についても無批判ではいられない。近現代の主権国家についても、いずれ総合的な再検討が始まるのであろう。

設問 1 下線部①の戦争に参加した君主として誤っているものを、次の 1～4 の中から一つ選びなさい。

- 1 カール 5 世 2 フランソワ 1 世 3 スレイマン 1 世 4 ジェームズ 1 世

設問 2 下線部②の条約の取り決めについて述べた文として正しいものを、次の 1～4 の中から一つ選びなさい。

- 1 スウェーデンが西ポンメルンを獲得した。
- 2 神聖ローマ帝国諸侯の領邦国家に独自の外交権は認められなかった。
- 3 ルター派とカルヴァン派の信仰が初めて公認された。
- 4 スイスとベルギーの独立が承認された。

設問 3 下線部③に関連して、教皇権が君主権に優越していた11世紀末、教皇の命によりイエルサレムに十字軍が派遣された。十字軍遠征の歴史に関連する事実として明白に誤っているものを、次の 1～4 の中から一つ選びなさい。

- 1 教皇ウルバヌス 2 世は、クレルモン宗教会議を招集し、聖地回復のための聖戦を提唱した。
- 2 第 1 回十字軍は、各国の諸侯や騎士を中心に編成され、聖地を占領してイエルサレム王国を建てた。
- 3 第 3 回十字軍には、サラフ＝アッディーン（サラディン）に奪われた聖地を回復するため、神聖ローマ帝国・フランス・スペインの君主が参加した。
- 4 第 4 回十字軍は、ヴェネツィアの意図に従い、コンスタンティノープルを占領してラテン帝国を建てた。

設問 4 下線部④に関連して、ブルボン朝の君主の名とその事績との組み合わせとして正しいものを、次の 1～4 の中から一つ選びなさい。

- 1 フィリップ 4 世 — 三部会の開設
- 2 ルイ 13 世 — ナントの王令廃止
- 3 ルイ 15 世 — ジョージ王戦争への参戦
- 4 ルイ 18 世 — アルジェリア遠征

設問 5 下線部⑤に関連して、のちのフランス革命期の国民公会は、国王の常備軍に代わって、徴兵による国民軍を軍隊の主力とした。国民公会のその他の事績として誤っているものを、次の 1～4 の中から一つ選びなさい。

- 1 共和政の宣言
- 2 革命暦の導入
- 3 ギルドの廃止
- 4 理性崇拜の宗教の導入

設問 6 下線部⑥に関連して、ヨーロッパの荘園制について述べた文として明白に誤っているものを、次の 1～4 の中から一つ選びなさい。

- 1 荘園は、領主直営地・農民保有地・共同利用地から成り立った。
- 2 領主は、農民を領主裁判権によって裁き、荘園と農民を自由に支配した。
- 3 領主は、自らの荘園内では国王による課税を拒否する特権を有していた。
- 4 農奴は、貢納を多く納めれば自由農民となり、他の荘園に移動することができた。

設問7 下線部⑦の思想家が著した『リヴァイアサン』の内容について述べた文として正しいものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 外国の侵攻による混乱を受けて、軍事力や権謀術数などの力に訴えた政治を主張し、これを宗教的・道徳的な理想とは切り離して考えた。
- 2 王権を、『旧約聖書』で人類の祖とされるアダムに由来する、神から授けられた家父長権であると論じた。
- 3 国家が有する自然権や戦時における各国の守るべき義務や権利などを主張し、国際法を体系化した。
- 4 自然状態においては「万人の万人に対する闘争」が生じると考え、この混乱を防ぐために、国家主権の絶対性を主張した。

設問8 下線部⑧に関連して、イデオロギーの対立にかかわる出来事について述べた文として明白に誤っているものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 第1インターナショナルでは、マルクスとバクニンが対立した。
- 2 ベルンシュタインは議会を通じた社会主義の実現を主張し、その考えは修正主義とよばれた。
- 3 ローザ＝ルクセンブルクは、ドイツ社会主義労働者党を結成したが、1919年の蜂起で右翼将校に殺された。
- 4 コミンテルンは、ファシズムに対抗するため、人民戦線の結成を唱えた。

IV 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。解答はマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ヨーロッパ諸国にとって、太平洋地域、とくに南太平洋地域は久しく遠方の未知なる地域であったが、18世紀後半に活躍したイギリスのクック^aの探検などにより、じょじょにオーストラリア大陸や太平洋の島々の輪郭が明らかにされた。

イギリスの領有が宣言されたオーストラリアは、イギリス本国の流刑地として開拓され、入植者もわずかであったが、19世紀に入ると、イギリスやアイルランド、そのほかのヨーロッパ諸国出身の移住者が増えていった。1850年代にニューサウスウェールズやヴィクトリアで金鉱が発見されると、ヨーロッパ諸国だけでなく、中国などからも採掘者が集まり、オーストラリアの人口は急増した。このような移民の増加と開拓の進展により、各地の政治・経済の諸制度も整備され、1901年にはオーストラリア連邦が成立し、イギリス自治領^bとなった。ニュージーランドもオーストラリアと同様に、イギリスが18世紀に領有を宣言して以来、ヨーロッパ諸国からの移住者が増加し、先住民と衝突を重ねながら、白人優位の社会を築き上げていった。ニュージーランドはオーストラリアに続き、1907年にイギリス自治領^cとなった。

19世紀の帝国主義の時代には、イギリス以外の列強諸国も太平洋地域に覇権をふるった。ビスマルク諸島やニューギニアなどを植民地としたドイツは、第一次世界大戦の敗北により、すべての海外植民地を失ったが、イギリス、オランダ、フランス、アメリカなどの列強諸国による太平洋諸島の統治はその後も続いた。第二次世界大戦^eでは、大東亜共栄圏構想を掲げる日本が勢力を拡大し、ソロモン諸島のガダルカナル島ではアメリカ、オーストラリアとの激戦を繰り広げた。

戦後、冷戦体制は太平洋地域にもおよび、1954年、オーストラリアとニュージーランドは、アメリカ、イギリス、フランスなどとともに東南アジア条約機構^fという反共軍事同盟に加盟した。また、同時期にアメリカは、戦後、信託統治領となったビキニ環礁^gで水爆実験を行うなど核開発を進め、冷戦期における核戦争の脅威が高まった。

1960年代以降、太平洋の島々のなかには、独立を遂げた国がある一方で、現在も欧米諸国の統治下にあり、本国との間に政治的、経済的、文化的問題を抱えている島々もある。^h

設問 1 下線部 a について、正しいものを一つ選びなさい。

- イ クックの探検を支援したのは、ステュアート朝のジョージ 1 世であった。
- ロ 18 世紀半ばに設立された王立協会は、クックに博物学の調査を依頼した。
- ハ イギリスは、クックに次いでベーリングを北太平洋地域の調査に派遣した。
- ニ クック以前に、オランダ人のタスマンが南太平洋地域に到達していた。

設問 2 下線部 b について、正しいものを一つ選びなさい。

- イ イギリス自治領になったことを機に、オーストラリアは、それまでの白豪主義政策を撤廃した。
- ロ カナダとアイルランドは、オーストラリアよりも早くイギリス自治領となった。
- ハ 1930 年代に制定されたウェストミンスター憲章は、イギリス本国と自治領との対等な関係を認めた。
- ニ イギリス自治領となった南アフリカ連邦から、トランスヴァール共和国が独立した。

設問 3 下線部 c について、正しいものを一つ選びなさい。

- イ マオリ人は、19 世紀半ば以降も白人政府に対して土地を守るために激しい抵抗運動を展開した。
- ロ マオリ人は、アボリジニー同様、西洋の人類学者によって「好戦的なミクロネシア人」と分類された。
- ハ ニューゼーランドでは、20 世紀初頭に世界ではじめて白人女性に参政権が与えられたが、マオリ人の権利保障は 1960 年代になってからだった。
- ニ マオリ人から収奪した土地で牧羊業を発展させ、経済力を高めたニューゼーランドは、第一次世界大戦時には軍事的中立路線をとった。

設問 4 下線部 d について、植民地政策を展開したヴィルヘルム 2 世の治世に関連しない事項を一つ選びなさい。

- イ ロシアとの再保障条約の更新拒否
- ロ 日本への三国干渉
- ハ バグダード鉄道の売却
- ニ ドイツによる青島の租借

設問 5 下線部 e について、明白な誤りのあるものを一つ選びなさい。

- イ 西洋列強の支配からアジア諸民族を解放し、日本を盟主としてアジアを共栄に導くという構想は、近衛文麿内閣によって打ち出された。
- ロ 日本は朝鮮人を徴用して日本本土や樺太だけでなく、南洋諸島にも送り、過酷な労働に就かせた。
- ハ 日本軍はイギリスの植民地であったマレー半島とシンガポールへの上陸を試みたが激しい抗日運動に屈し、失敗した。
- ニ 日本はミッドウェー島周辺でアメリカに敗北し、戦争の主導権を失っていった。

設問 6 下線部 f について、これに加盟した国を一つ選びなさい。

- イ シンガポール ロ フィリピン ハ バングラデシュ ニ ベトナム

設問 7 下線部 g について、時系列の正しいものを一つ選びなさい。

- イ 第五福竜丸事件 → ソ連初の原爆実験 → フランス初の原爆実験 → キューバ危機
- ロ フランス初の原爆実験 → キューバ危機 → 第 1 回バグウォッシュ会議の開催 → 核拡散防止条約の発効
- ハ 第五福竜丸事件 → 第 1 回バグウォッシュ会議の開催 → キューバ危機 → 核拡散防止条約の発効
- ニ フランス初の原爆実験 → 第 1 回バグウォッシュ会議の開催 → 核拡散防止条約の発効 → キューバ危機

設問 8 下線部 h について、正しいものを一つ選びなさい。

- イ 南太平洋に位置するニューカレドニアは、19世紀半ば以来、フランス領である。
- ロ クックが発見したグアムは、19世紀末にイギリスからアメリカに譲渡された。
- ハ アメリカに併合されたハワイは、リリウオカラニが全島を統一して生まれた立憲王国であった。
- ニ ニューギニア島東部はパプアニューギニアとして独立したが、西部は、19世紀前半以来、スペイン領である。

V 第二次世界大戦後、イギリス植民地であったインド・パキスタン両国は宗教対立のために分かれて独立する。それに至る過程においてこの地域の支配政策は宗教間の対立・融和にどのような影響を与えてきたか、ムガル帝国成立以降1940年頃までの状況について、下記の語句をすべて用いて、250字以上300字以内で説明しなさい。なお、句読点、数字は1字に数え、指定の語句には必ず下線を付しなさい。

ジズヤ インド大反乱 ベンガル分割令 新インド統治法

〔以 下 余 白〕